



射水市立大門小学校 学校だより



第22号

三輪の結

大門っ子

令和7年3月24日

ご卒業おめでとうございます！

前日の雨も止み、大門の空が青く晴れ渡り、卒業生の門出を祝うような素晴らしい朝を迎えました。3月18日（火）、射水市教育委員 成田 廣昭様、本校PTA会長 道古直人様はじめたくさんの来賓の方々にご臨席いただき、保護者の皆様に見守られる中、令和6年度卒業証書授与式を挙行了しました。「卒業証書授与」では、子供たちの一人一人に「おめでとう」とお祝いの言葉をかけると、「ありがとうございます」と応える子供もいました。卒業証書を手にした子供たちの表情はとても堂々としていました。充実した小学校生活を終える満足感と新しい世界への期待感がにじみ出ていました。

式辞では、このようなことを話しました。

皆さんは、入学以来、多くの先生方の教えを受け、仲間や地域の方々との触れ合いを通して、「かしこく、やさしく たくましい」子供に育ちました。

今年度の大門小学校は「本気でチャレンジ・本チャレ」を合言葉に学校行事やクラブ活動、委員会活動等、様々なことに挑戦してきました。

皆さんとの思い出の一つに、本校では11年ぶりに行った立山登山があります。一ノ越から雄山頂上までの険しい山道を一步一步歯を食いしばって登って行きましたね。私は先頭で、すぐ後ろの2人の子に何度も「大丈夫？」と声をかけました。でも必ずにっこり笑って「大丈夫です」と応えてくれました。表情は本当に辛そうなのに。頂上で見た素晴らしい眺望とともに苦しいときにこそ笑顔を見せる2人の強い姿を私は忘れることはできません。

人生は辛いことや苦しいこと、嫌なこともたくさんあります。そんなときこそ皆さんが好きな「いのちの歌」の「泣きたい日もある 絶望に嘆く日も そんな時そばにいて寄り添うあなたの影」の歌詞のように仲間と手を取り合い、一步ずつ歩みを進めてください。きっと心も体も大きく成長します。



P T A会長の祝辞の後、「旅立ちの詩 卒業生・在校生の言葉」となりました。卒業生の子供たち一人一人が感謝の思いを込めて、呼びかけました。そして、卒業歌「旅立ちの日に」の合唱となりました。「いま、別れの時～」の歌詞を聴いたとき、心のこもった歌声に鳥肌が立ちました。最後は、在校生からの卒業生に感謝する呼びかけ、そして「大門の大空」の合唱で、会場全体が温かい雰囲気になりました。いよいよ本当に6年生120名が、大門小学校を巣立っていくのだと実感が湧きました。

卒業生が立派に退場していく姿に心から拍手を送り、明るい未来への飛躍を願わずにいられない気持ちになりました。凜と張り詰めた素晴らしい卒業証書授与式でした。



P T Aより記念品の贈呈式



3月12日(水)、卒業式予行の練習後、卒業記念品贈呈式およびP T A記念品贈呈式を行いました。今年は全校児童が体育館で式に臨みました。

始めに卒業記念品贈呈式を行いました。卒業生代表児童より、室内用と室外用の2台のスポーツタイマーをいただきました。来年度の体育的な行事や体育の時間等で、使用させていただきます。ありがとうございました。

P T A記念品贈呈式では、道古会長から卒業生代表に卒業証書入れホルダへの補助をいただきました。また、道古会長からは、卒業生に心温まる素敵なお祝いの言葉もいただきました。



一年間、ありがとうございました！

3月25日(火)より、学年末休業となります。今年度「本気でチャレンジ」を合い言葉に様々な行事に挑戦し、子供たちは自尊感情を高め、表現する力が伸びました。保護者の皆様が子供の成長を大いに褒めてあげることが、新しい学年に向かう大きな力の源となります。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この一年間、学校運営に対して多大なご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

(校長 阿尾昌樹)